

# 監査報告書

令和6年5月20日

社会福祉法人 あかりの家

理事長 三原 憲二 様

監事 中野 直子



監事 山本 弘幸



私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

#### 【事業全般について】

- ① 定款第1条に規定される事業については、事業計画に沿って実施され、また結果についても適切に事業報告がされている。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実はみとめられません。

#### 【各事業について】

- ③ 障害者支援施設あかりの家の利用者支援については、職員の異動による組織改編にも対応できる人材育成が組織的にできており、職員の意識向上と利用者個々に対応した支援の充実が推察される。今後とも利用者の高齢化に伴う健康管理上の問題や引き続き感染症対策などにも考慮しながら利用者の立場に立った支援に努めていただきたい。
- ④ 児童デイサービスについては、前述のあかりの家同様に職員の異動はあったが、支援体制を維持しつつ療育の質を落とすことなく2事業所において支援を必要とする多くの児童を受入れている。保育所訪問事業においては、関係機関との連携に努められ、質の高い支援が出来る児童療育センターとして認識されつつある。今後も地域の療育の拠点として園や学校等との連携強化に努めていただきたい。
- ⑤ ワークホーム高砂については、働き方の見直しや作業環境の改善に積極的に取り組み、週5日制の導入により作業負担の軽減や余暇活動の充実に繋げている。将来を見据えたゴトウアズプランニング

との調整や保護者会との連携に努めるとともに、引き続き利用者の生活全般に関わる支援に努めていただきたい。納豆工房なっとこちゃんにおいては、積極的に事業展開をされ、懸案事項であった利用者確保にも努められている。工賃においては、いずれの事業所も高い水準を維持しておりサービス提供の面からも高く評価できる。

⑥ ひょうご発達障害者支援センタークローバーは、市町相談窓口の研修やこども園等への早期支援体制の強化に努め、県のセンターとしての役割を果たすとともに、ランチ的機能においても、地域の学校や企業への支援に努めるなど個別事例にもきめ細やかに対応をされている。いずれも県の委託事業として連携機関等からの信頼度が非常に高いことが推察される。

⑦ 地域支援センターあいあむについては、東播磨圏域における地域支援の拠点としての役割も大きく、業務も多忙ではあるが、職員の健康管理に留意しながら、今後も専門性を活かして地域支援の拠点としての活動に期待する。基幹相談支援センターは、地域の相談窓口としてのニーズに応えるべく積極的な取組みをされている。

⑧ あかりの家全体としては、令和5年度は新型コロナウイルス感染を何度か経験し、対応に苦慮されたことは想像に難くない。

各事業においては、それぞれが年月をかけて改善改革がなされてきており、障害福祉サービス等の質の確保・向上に努められ、一定の成果を出しているものと思われる。

今後、施設の建替えも見据えた法人運営においては、各事業における収支の状況を管理職が共有しつつ、特に事業活動がマイナス決算となっている受託事業については、黒字転換できるよう、引き続き発注者との交渉に努めていただきたい。

## (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

① 決算報告でもあったように今年度から消費税が簡易課税制度を選択できなくなった。このため消費税の納税額の多寡により収支及び損益に影響を及ぼすことになり、予算額との差額が多くなる場合も出てくる。これを予測することは難しいのである程度の金額（例えば前年金額や過去3年の平均額）を予算として計上し、誤差は特別増減の部で表示する等の対策をすることで分かりやすい書類の作成を目指してください。

② 財産目録、決算報告書（案）を監査した結果、適正に処理されていた。

以上